



**株式会社インフォメーションクリエイティブ (4769)**

# **2021年9月期 決算説明資料**

**2020年10月 – 2021年9月**

**2021年12月1日**

# 1. 会社概要

# 2. 2021年9月期 連結決算内容

# 3. トピックス

# 4. 2022年9月期 連結業績予想

# 1. 会社概要

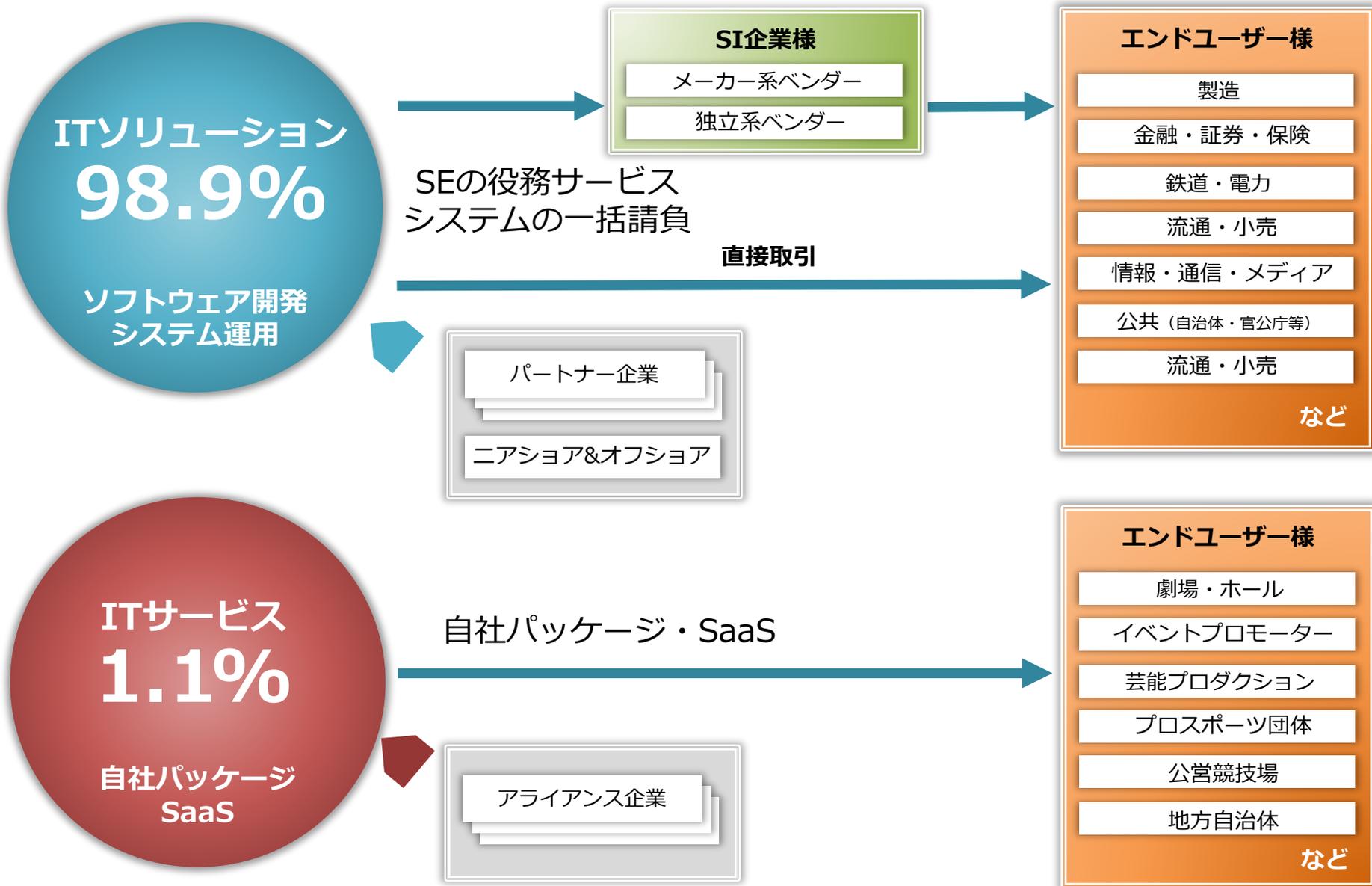
## 2. 2021年9月期 連結決算内容

## 3. トピックス

## 4. 2022年9月期 連結業績予想

<b>設立</b>	1978年2月20日
<b>資本金</b>	4億7百万円（2021年9月末現在）
<b>発行済株式総数</b>	7,732千株（2021年9月末現在）
<b>決算期</b>	9月
<b>代表者</b>	代表取締役社長 齋藤 良二 代表取締役副社長 三澤 昇平
<b>従業員数</b>	748名（2021年9月末現在） 平均年齢 36.8歳
<b>業種</b>	情報サービス業 （1）ITソリューション （2）ITサービス
<b>JASDAQ上場</b>	2000年7月13日
<b>株式売買単位</b>	100株単位
<b>証券コード</b>	4769（情報・通信業）

# 当社のビジネスモデル



1. 会社概要

**2. 2021年9月期 連結決算内容**

3. トピックス

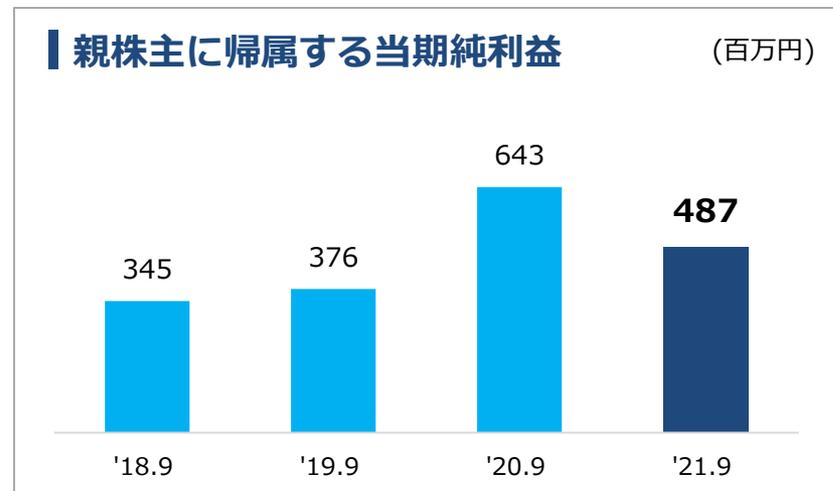
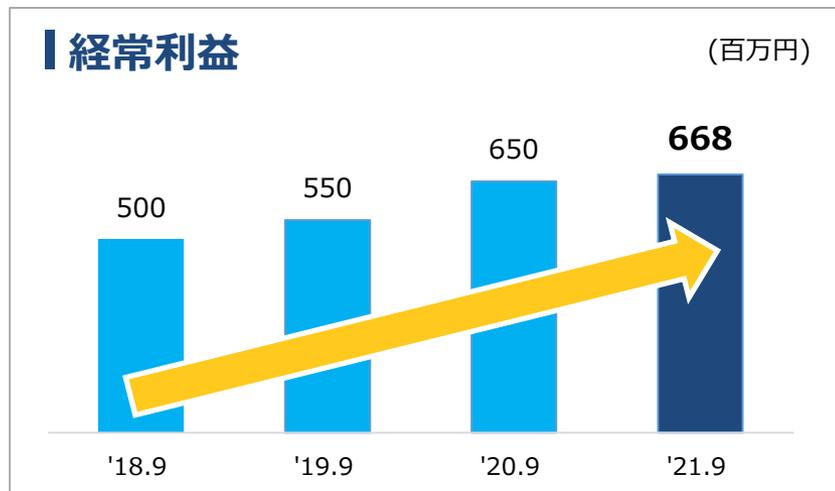
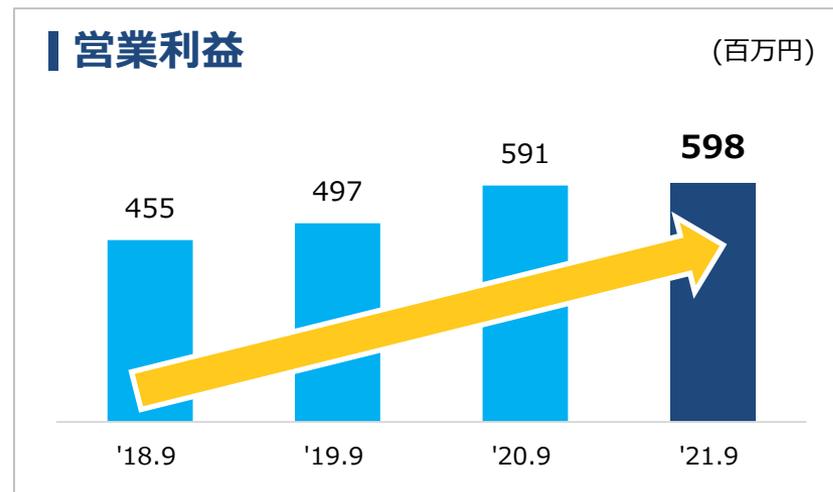
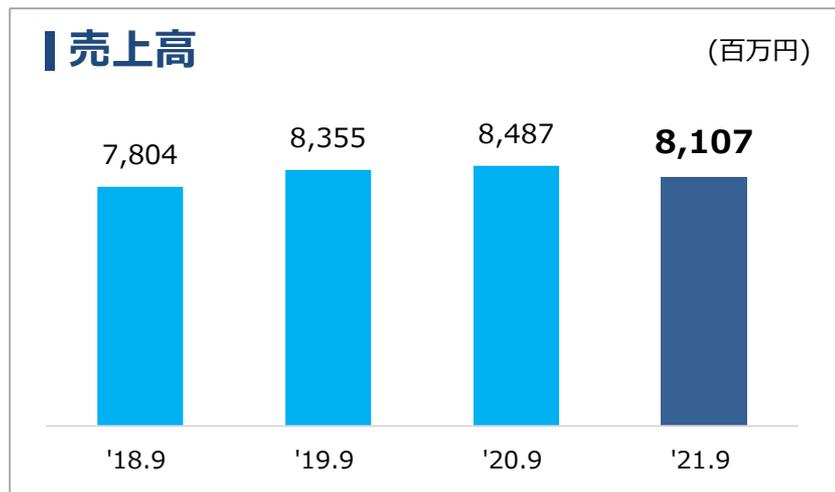
4. 2022年9月期 連結業績予想

- ✓ 売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により案件の延期や中断をする企業が増加したことで減少
- ✓ 営業利益は、生産性向上や経費削減の取り組みにより増加

(百万円)

	2020年9月期 実績	2021年9月期 業績予想	2021年9月期 実績	前期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	8,487	8,369	<b>8,107</b>	<b>▲379</b>	<b>▲4.5%</b>	<b>▲261</b>	<b>▲3.1%</b>
営業利益	591	583	<b>598</b>	<b>7</b>	<b>+1.2%</b>	15	+2.6%
経常利益	650	624	<b>668</b>	<b>17</b>	<b>+2.7%</b>	44	+7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	643	448	<b>487</b>	<b>▲155</b>	<b>▲24.2%</b>	38	+8.7%

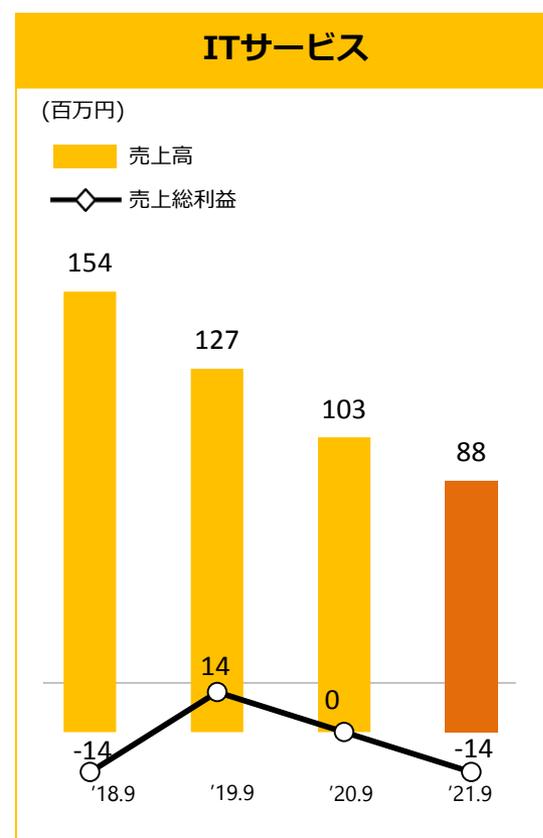
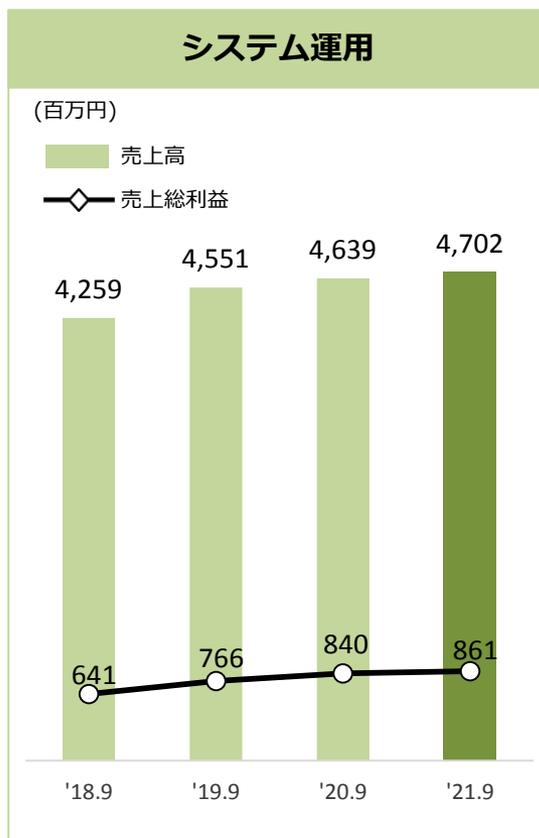
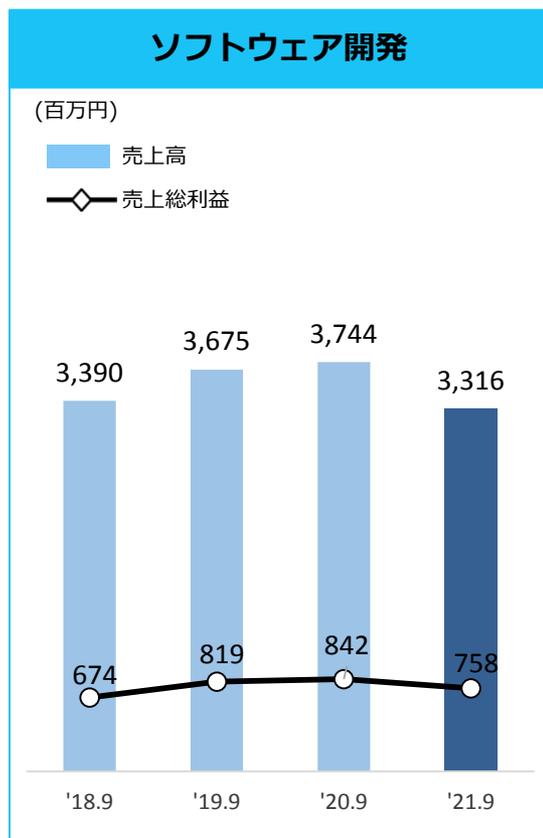
## 営業利益、経常利益は4期連続の増益を達成



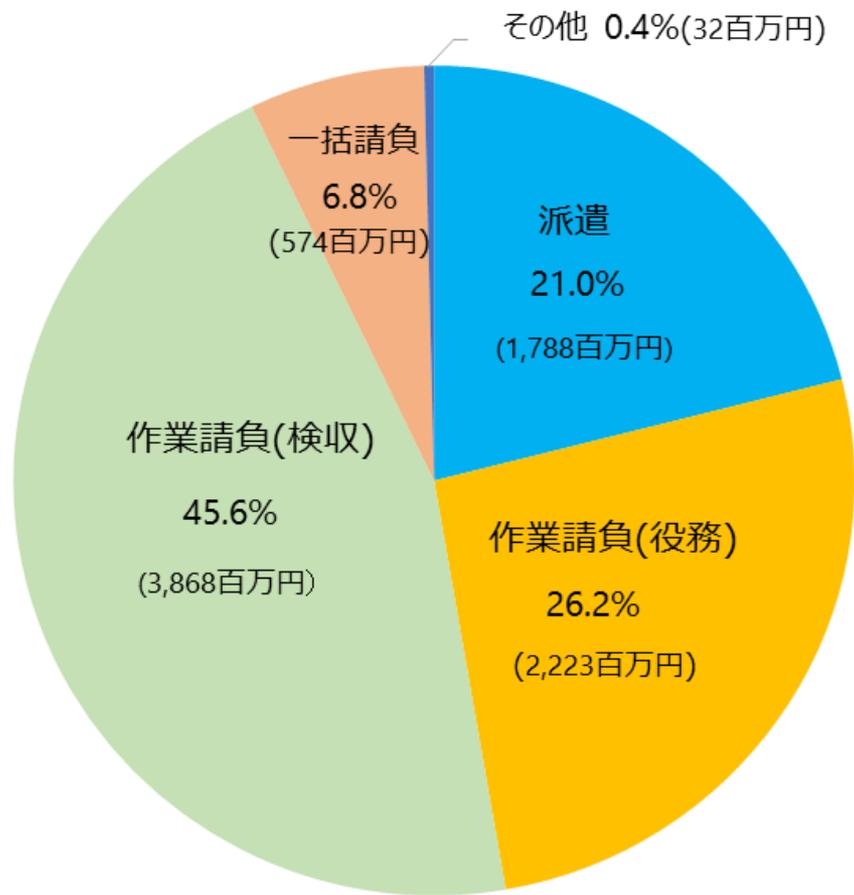
# セグメント別 実績概況



- ✓ ソフトウェア開発は、新型コロナウイルス感染症による案件の延期や凍結、瑕疵対応の影響により減収減益
- ✓ システム運用は、長期案件の継続で底堅く売上利益を確保
- ✓ ITサービスは、コロナ禍によるイベント中止、延期等により、チケット関連サービスにマイナス影響

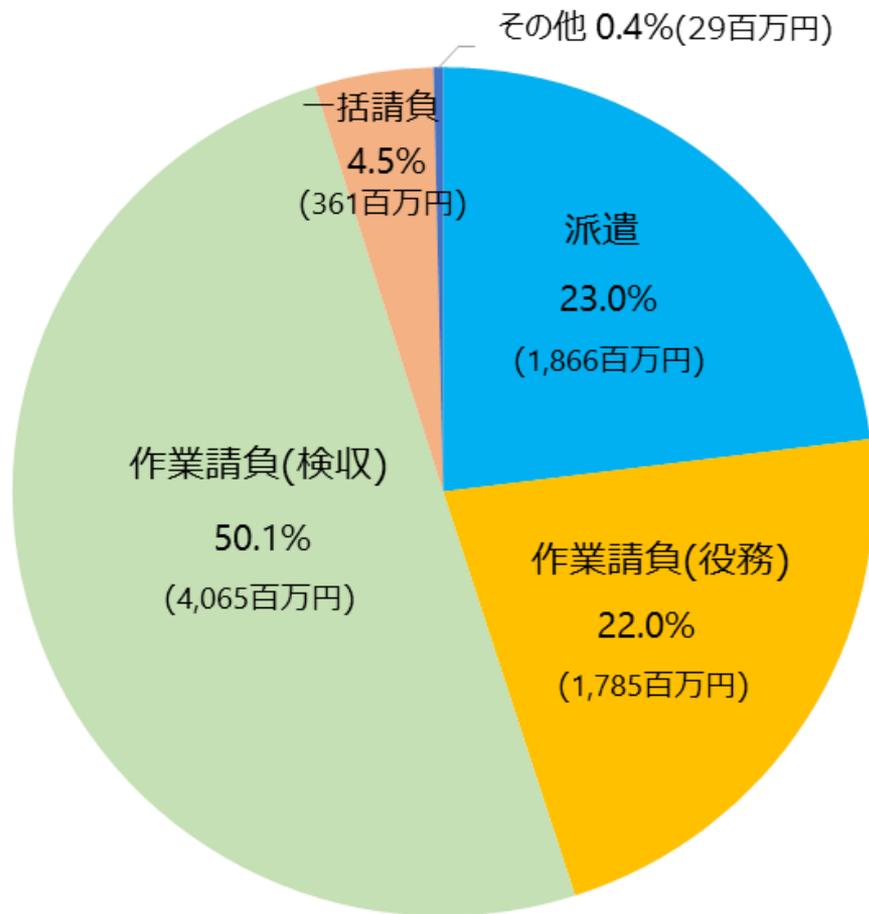


## 2020年9月期



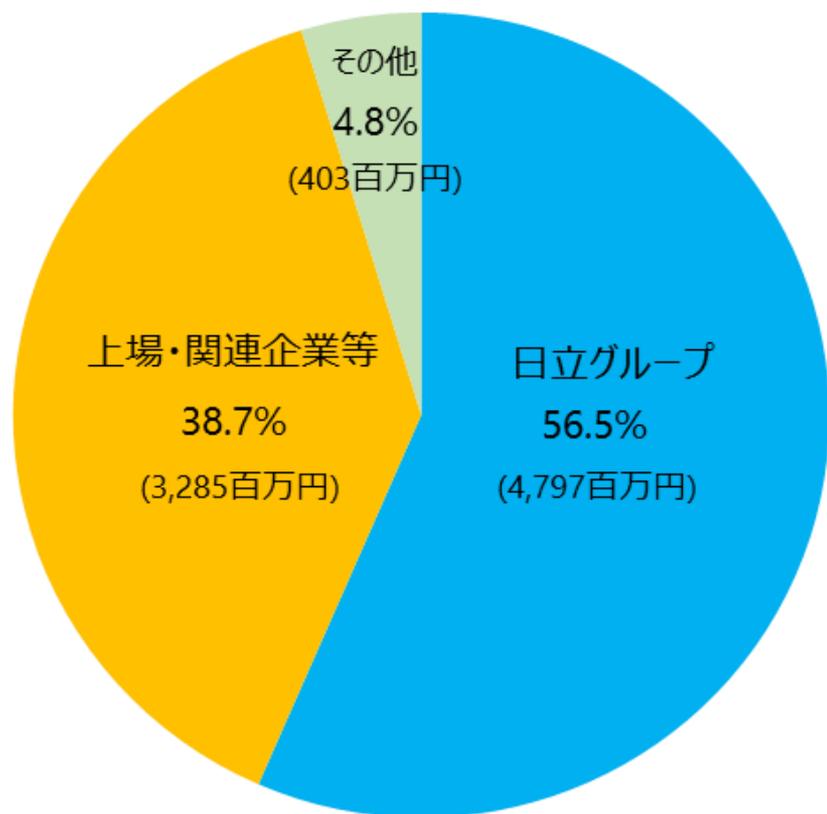
(売上高 : 8,487百万円)

## 2021年9月期



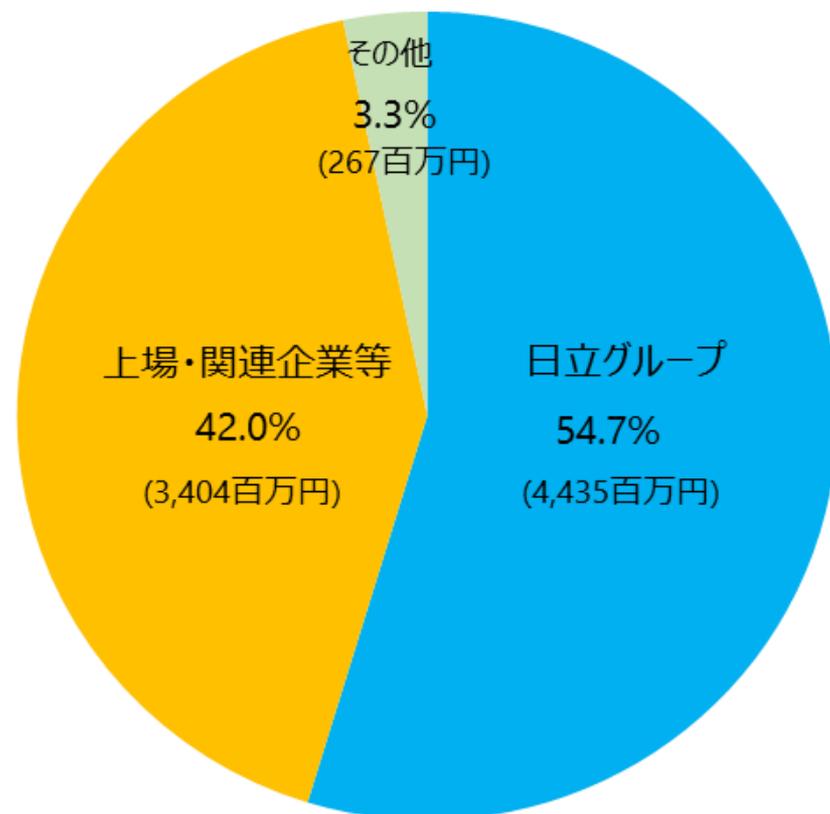
(売上高 : 8,107百万円)

## 2020年9月期



**(売上高 : 8,487百万円)**

## 2021年9月期

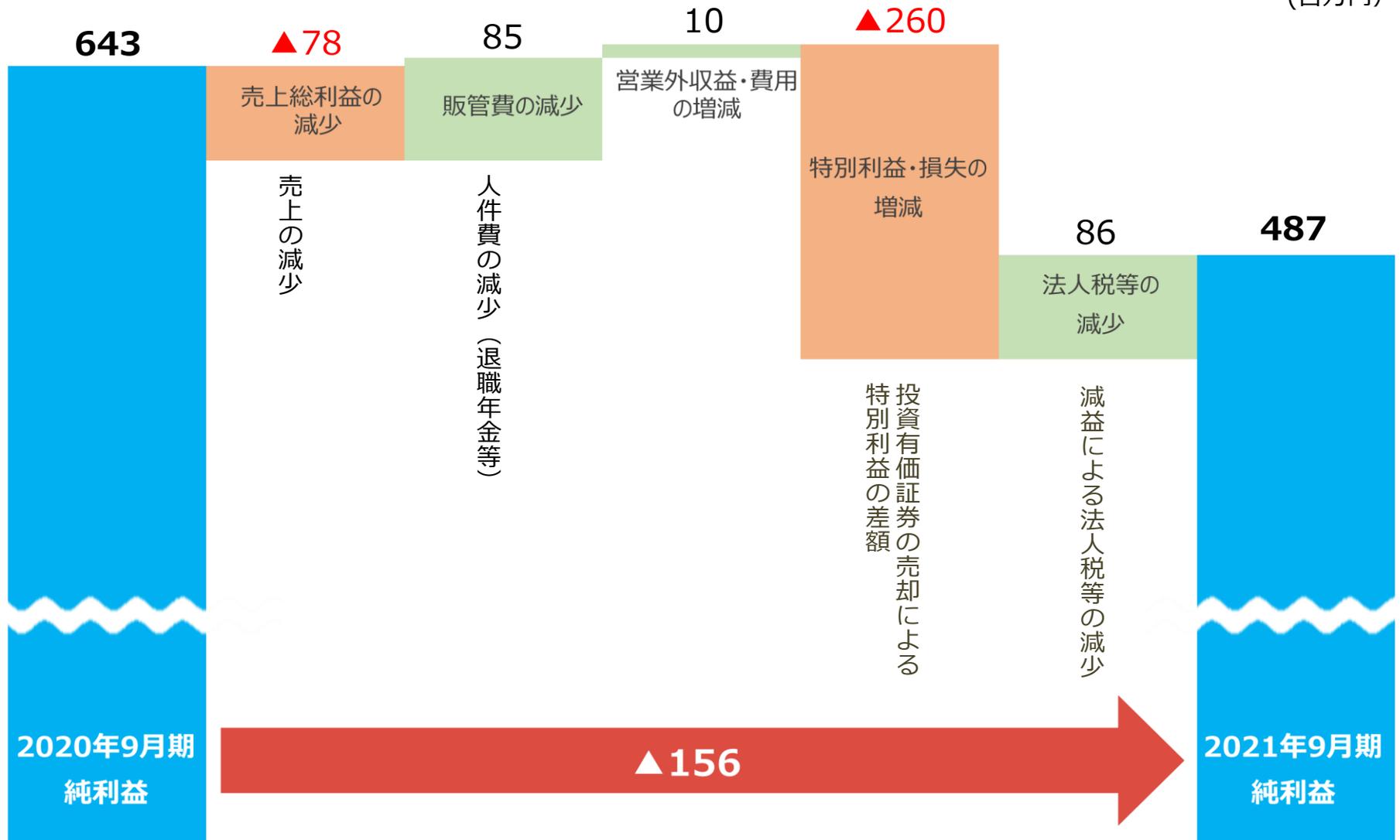


**(売上高 : 8,107百万円)**

# 親会社株主に帰属する当期純利益の増減要因



(百万円)



# 1. 会社概要

# 2. 2021年9月期 連結決算内容

# 3. トピックス

# 4. 2022年9月期 連結業績予想



10月1日より株式会社シルク・ラボラトリ及び株式会社フィートを連結子会社化。高い技術力を背景に、安定した実績を維持する両社とのシナジーにより、事業基盤の成長を加速。

## 技術領域・顧客基盤の拡大

- リソース・ソリューションの相互補完
- 顧客基盤の相互活用による受注強化
- 取引先顧客への追加提案

付加価値の高いサービスを創造することにより、技術領域・顧客基盤の拡大を図っていく

会社名	株式会社シルク・ラボラトリ
所在地	東京都新宿区大久保1-1-7
資本金	1,000万円
事業内容	ソフトウェア受託開発、研究開発支援、自社製品開発

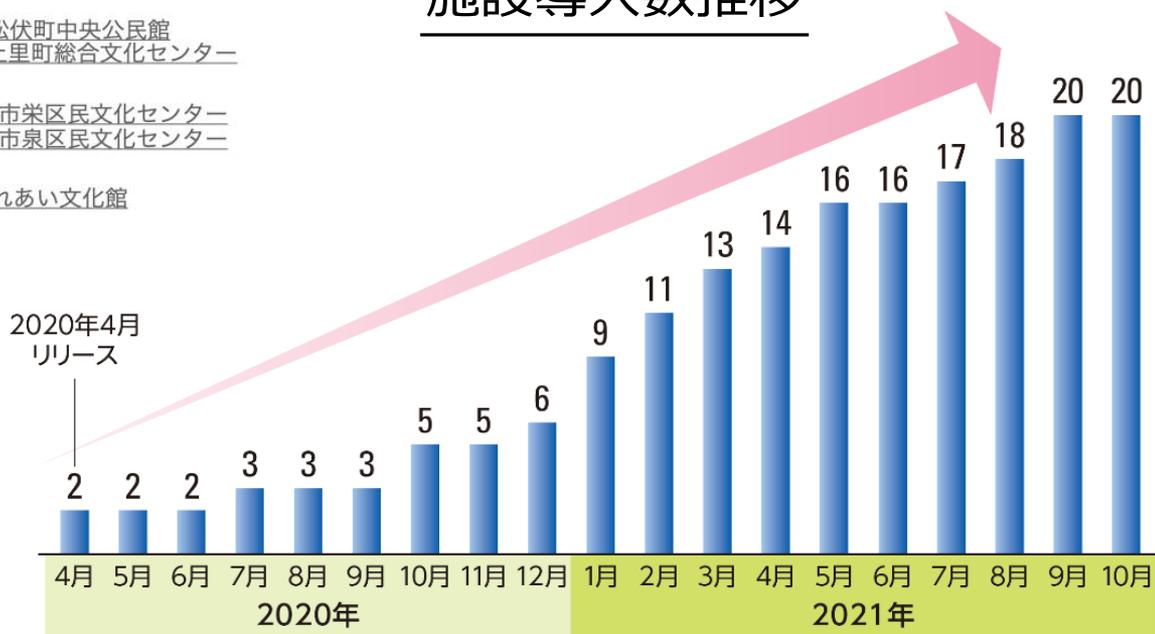
会社名	株式会社フィート
所在地	東京都新宿区大久保1-1-7
資本金	1,200万円
事業内容	多言語音声翻訳アプリケーションサービスの提供

## 全国各地で導入が増加

- コロナ禍においても公共施設を中心に堅調に顧客を獲得
- スポーツ関連企業・団体による導入が増加



## 施設導入数推移



## NEC社とパートナーシップ契約を締結

### イベント業界のDXをさらに推進

新聞社主催の音楽イベント、スポーツイベントなどに向けたシステム連携  
基盤を構築



**PRTIMES**

10月1日に“PRTIMES”にてプレスリリース。

FORESTISは、利用者の行動変容を促す新しいサービスとして、イベントのみならず、スマートシティ、観光、街回遊をはじめとした、様々な業種、業態の企業、自治体から多くのお声がけを頂いた。

## ベトナム人向けWEBマガジン

# Loco:Bee



アフターコロナに向け、在留ベトナム人を観光地のモニターツアーに招聘。LocoBeeやSNSを介してベトナム現地へ情報拡散を狙う動きが活発になり、インフルエンサーサービスに注力。2022年1月にはWEBマガジンのリニューアルを予定。



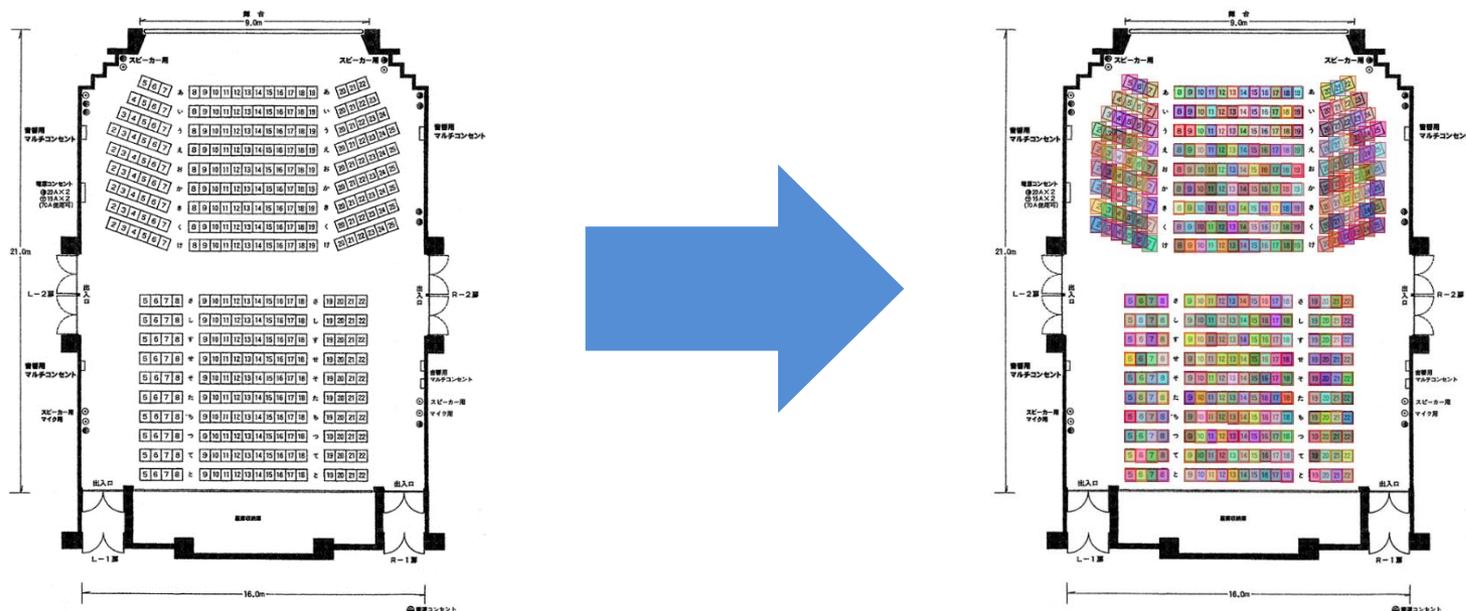
■在留外国人ランキング (2020年6月)

国・地域	在留人数	前年比
中国	786,830	100%
韓国	435,459	96%
<b>ベトナム</b>	<b>420,415</b>	<b>113%</b>
フィリピン	282,023	102%
ブラジル	211,178	102%

ソース：e-Stat 政府統計の総合窓口

## GlobalWalkers社との共同プロジェクトを開始

画像認識AIの技術を獲得するための第一弾として座席図認識AIプログラムを製作



今後は当社サービスへの取り込みの検討や課題解決に向けた試作品構築を進めていく

## 2021年9月、横浜F・マリノスとのオフィシャルパートナー契約、一般社団法人F・マリノススポーツクラブとDX推進パートナー契約を締結

### 「オフィシャルパートナー契約」概要

- ・『積極果敢に挑む』という当社理念の下、オフィシャルパートナー契約を締結
- ・ホーム・スタジアムにて、スタジアム大型ビジョン等に当社ロゴを掲出
- ・当社の持つ経験・技術力を活用することでIT化・DX推進をサポートし、チームの成功に貢献していく



### 「サステナブル DX推進パートナー」概要

- ・組織内外でのSDGsの普及・啓発を企図し、社員の参加意識の促進、IT化、DX推進サポートを行う
- ・当社サービス「チケット for LINE Hybrid」を導入し、チケット販売・購入にかかる作業をよりスムーズに簡略化。ユーザビリティの向上を実現
- ・F・マリノススポーツクラブが運営に関わる各拠点でのDX推進活動を包括的に進めていく



# 1. 会社概要

# 2. 2021年9月期 連結決算内容

# 3. トピックス

# 4. 2022年9月期 連結業績予想

# 2022年9月期 連結業績予想



新型コロナウイルスの影響を一定程度見込むも、増収及び営業増益、経常増益を目指す

(百万円)

	2021年9月期 実績	2022年9月期 業績予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	8,107	8,585	+477	+5.9%
営業利益	598	624	+25	+4.3%
経常利益	668	675	+7	+1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	487	466	▲21	▲4.4%

- ✓ 2021年9月期の配当は、当初予想23円に普通配当5円を加えた一株当たり「28円」を予定
- ✓ 2022年9月期の配当予想は、2021年9月期の普通配当「28円」を維持する見込

	2021年9月期	2022年9月期 予想
一株当たり年間配当金	28円	28円
配当性向	44.2%	46.2%



※ 2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 免責事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの基準と異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

また、本資料に記載される情報に関して、これに誤りがあった場合や第三者によるデータの改竄等によって生じた障害に関し、事由の如何を問わず弊社は一切の責任を負うものではありません。

それらリスクや不確実性には、弊社に関連する業界ならびに市場の状況や、国内及び国際的な経済状況及び一般的な市場環境等の要因が含まれます。今後、新しい情報や将来の出来事等が起こった場合であっても、弊社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正等をおこなう義務を負うものではありません。

お問い合わせ先  
株式会社インフォメーションクリエイティブ  
経営企画室

電話 03-5753-1211  
ファクシミリ 03-5753-1220  
Email [investor-relation@ic-net.co.jp](mailto:investor-relation@ic-net.co.jp)